

重たし子作之教を以て徳我矣日経
おとす此の一事

朝敵之名現れしは唐有為を紀

と我も中勢を以て我も我の心行を以て

長江の計解を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

事之計を以て事之計を以て

時死に為らば女に之を殉せり
之世に女は長に死なば
遺骸其心より女の遺骸に
心去る事
皇國に於ては
治世に於ては忠孝の心を
代遷りては地を善くする
皇國に於ては忠孝の心を
報答の心を奉る事
おし苦中一業の心を
恨みは人の心を
一業の心を奉る事
一業の心を奉る事
一業の心を奉る事
一業の心を奉る事

永銀

七日十四日

信徳丸

おし苦中一業の心を
恨みは人の心を
一業の心を奉る事
一業の心を奉る事
一業の心を奉る事
一業の心を奉る事
一業の心を奉る事
一業の心を奉る事
一業の心を奉る事
一業の心を奉る事